



学校教育目標

「自ら学ぶ意欲をもち、心豊かなたくましい東っ子」の育成

こだま 7月号



〔東町小ホームページ〕 <https://www.city.ageo.lg.jp/site/azumacho-elementaryschool/> 東町小学校のキャラクター
または、「上尾市教育委員会」ホームページ → 「市立幼稚園・小中学校」 → 「東町小学校」をクリック。あずまっぴー

実体験を積み重ねる

上尾市立東町小学校長 加藤 雅教

夏の暑さを感じる日が増えてきました。すでに全国各地で、30度以上の真夏日になっているところもあります。子供たちは、まだ暑さに慣れていないこともありますので、熱中症には十分注意してまいります。

さて、学校では、2～6年生に一人一台のタブレット端末を貸与したり、通信ネットワークを整備したりとICT環境を整えて、新たな学びを推進しているところです。ICT端末を活用した学びを進めていますが、一方でリアルな体験をとおして学ぶことも非常に大切なことです。

国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」(平成22年10月)によると、

子供の頃に「自然体験」や「友だちとの遊び」などの体験が豊富な人ほど、「もっと深く学んでみたい」といった意欲・関心、「電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずる」といった規範意識、「社会や人のためになる仕事をしたい」といった職業意識が高くなる傾向がみられ、子供の頃の体験が豊富な大人ほどやる気や生きがいを持っている人が多い傾向にあることが明らかになった。

という、調査結果が報告されています。

また、

各年齢期(就業前、小学校低学年・高学年、中学生)の体験と体験の力の関係について分析し結果、自己肯定感や共生感といった体験の力をはぐくむには、小学校低学年までは友だちや動植物とのかかわり、小学校高学年から中学生までは地域や家族とのかかわりが大切になることも明らかになった。

という調査結果があります。 国立青少年教育振興機構

「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書(平成22年10月)より

7月21日から8月24日までの36日間は、夏休みとなります。新型コロナウイルスの感染拡大防止の点から、まだ行動に制約があるかもしれませんが、子供たちは普段できない経験がたくさんできればいいなと思っています。自然体験、友達との遊び、動植物とのふれあい、地域や家族とのかかわり等、様々な体験を積み重ねることができたら、子供たちにとって成長に繋がる夏休みとなるのではないのでしょうか。遠くへ行かなくても、身近なところで経験の機会はあると思います。様々な実体験を積み重ねられるよう、保護者の皆様、よろしくお祈りします。

自転車乗車時には、ヘルメットの着用を！

自転車乗用中の事故の被害を軽減するために、自転車のヘルメットを着用させてください。